

## 2024年度 第1回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2024年5月10日(金) 13:00 ~ 16:54

会 場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名（津田監事 小島監事）  
小田島会長 横山副会長 小俣副会長 中島副会長 山中副会長  
佐々木理事 雨宮理事 下村理事 小橋理事 谷川理事 北島理事 松本理事、  
石川理事 藤山理事 大城理事 大和理事 金澤専務 坂常務（Web参加：事務局）

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

<会長挨拶>

皆さま、新年度第1回目の理事会にあたりご挨拶いたします。  
このメンバーで会議を行うのは最後となります。  
二年間大変ありがとうございました。

アフターコロナ、日本代協コンベンションをリアル開催するかどうかなどの議論、各地での熱い活動、様々な声をこの場で聴かせていただいたことが思い出されます。  
理事の皆さまの代協に対する情熱、高い志と発展させたいというお気持ちが、あらゆる場面から伝わり、大勢の会員さんの心を動かしたものと思います。  
これからも取り組む中で、特に未来に向けての課題を語り合い、代理店の資質向上や自社事業経営を成長させる後押しが出来る、そのような場であればと願っております。

本日は6月通常総会の内容を中心に話し合いをお願いします。

5月および6月は、47都道府県代協の総会が開催されます。  
今朝、ダイレクトで理事の皆様に発信した挨拶文には、災害発生に伴って今考えるべき事、代協活動に対するお礼、有識者会議の話し等をまとめましたので、会員の皆様へくれぐれもよろしくお伝え願います。

・3月理事会以降の業務報告

佐藤最高顧問へ文書にて近況報告を実施した

4月18日 損保協会様と懇談会

4月23日 正副オンライン会議

5月9日 損保労連様と意見交換会

## 審議事項

### 1. 2024年度通常総会の開催形式・日程・運営・付議事項等の審議

会長および事務局より、資料に基づき、2024年6月開催の2024年度通常総会の(1)開催形式、(2)日程、(3)運営、(4)付議事項について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

##### (1)開催形式

リアル集合形式で開催する。

##### (2)日時場所

開催日 2024年6月13日(木)

会場 損保会館2階大会議室(東京都千代田区神田淡路町2-9)

日程 1300-1310 三浦課長ご挨拶

1310-1400 通常総会

1400-1420 第2回理事会

1430-1500 政治連盟臨時代議員会

(休憩)

1515-1700 全国会長懇談会

1720-1900 懇親会

##### (3)総会運営

総会議長候補者、議事録署名人(2名)の選出

・議長候補者 安井 義幸 氏(京都代協会長)

・議事録署名人 大川 淳 氏(やまがた代協会長)

竹内 繁 氏(大分県代協会長)

##### (4)2024年度通常総会付議事項および付議事項審議

第1号議案:2023年度(第60期)事業報告案承認の件

第2号議案:2023年度(第60期)貸借対照表正味 財産増減計算書 財産目録承認の件

第3号議案:全役員任期満了に伴う役員選任の件

〔審1〕2024年度通常総会提案議案(理事会用)2023年度事業報告及び決算報告(別冊)

〔審1〕2024年度資格審査結果報告

次に付議事項の内容に関する審議について、事務局より、第1号議案から第3号議案について説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

通常総会の招集通知は5/13(月)に発送予定である。

#### 【決定したこと】

2024年度 通常総会付議事項審議

第1号議案 2023年度(第60期)事業報告案承認の件

1.2023年度(第60期)事業報告 要旨

2.代理店・募集人の資質向上

3.公正な市場環境の構築・提言活動

4.実効性あるCSR活動の展開

5. 組織力の強化
  6. 活力ある代理店制度の構築
  7. 広報活動の展開
  8. 代協会員への経営支援・情報の提供
  9. コンベンション
  10. 法人運営
- 付1.～付6.

第2号議案 2023年度(第60期) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第3号議案 全役員任期満了に伴う役員選任の件

役員候補者の資格審査に関しては、4月24日(水)に資格審査委員会(井手委員長、佐藤委員、山口委員)を開催し、会員名簿及び理事または監事候補者略歴書等を個別に審査し、全候補者が適格であることを確認したとの報告があった。

### 2024年度 役員候補者

理 事

2024年4月24日現在

氏 名	(現)日本代協役職	所属代協・所属代協役職	
小田島綾子	理 事 ・ 会 長	新 潟	理 事
小 俣 藤 夫	理 事 ・ 副 会 長	山 梨	理 事 副 会 長
中 島 克 海	理 事 ・ 副 会 長	福 岡	理 事 相 談 役
山 中 尚	理 事 ・ 副 会 長	大 阪	相 談 役
佐々木雅之	理 事	北 海 道	顧 問
雨 宮 豊	理 事	神 奈 川	顧 問
小 橋 信 彦	理 事	京 都	顧 問
松 本 一 成	理事・企画環境委員長	東 京	理 事
石 川 英 幸	理事・教育委員長	三 重	理 事
藤 山 裕 介	理事・組織委員長	東 京	理 事 副 会 長
大 和 親 英	理事・広報委員長	東 京	理 事
三 好 亘	-	徳 島	理 事 会 長
郡 英 宏	-	熊 本	理 事
雨宮新一郎	-	東 京	理 事
植 村 敬 子	-	熊 本	理 事
金 澤 亨	専 務 理 事	-	-
坂 雅 夫	常 務 理 事	-	-

17名

監 事

氏 名	(現)日本代協役職	所属代協・所属代協役職	
小 島 俊 宏	監 事	東 京	
津 田 文 雄	監 事	石 川	監 事

2名

## 2. 各委員会委員の選出

事務局より資料に基づき、各委員会委員の推薦状況の説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

ブロック推薦（企画環境、教育、組織、CSR）ならびに理事会推薦（広報）の各委員について、承認された。

#### 1. ブロック推薦

\* 新任

	企画環境委員会		教育委員会		組織委員会		CSR委員会	
	代協	氏名	代協	氏名	代協	氏名	代協	氏名
北海道	北海道	* 松浦 慎太郎	北海道	* 大下 和宏	北海道	* 若林 徹	北海道	* 菅原 猛
北東北	青森	* 北上 忠光	岩手	* 出雲 公	秋田	* 田代 敦	青森	* 五戸 安行
南東北	宮城	* 小野 義之	やまがた	* 押井 一之	やまがた	蘆田 厚子	福島	酒井 達也
上信越	群馬	* 田中 孝司	新潟	* 木村 修一	長野	* 山口 哲也	群馬	* 南雲 正
東関東	茨城	* 武井 光輝	千葉	* 楳田 淳	埼玉	* 中島 竜二	栃木	* 廣田 健司
南関東	神奈川	* 清田 顕彦	山梨	* 坂本 健一	神奈川	豊 純光	山梨	* 大久保 勲
東京	東京	* 深澤 隆史	東京	* 古矢 光範	東京	* 北村 謙一	東京	小野 和江
東海	静岡	* 田地川 政樹	三重	* 稲垣 智宣	愛知	* 手戸 健一	岐阜	* 磯谷 宏
北陸	富山	* 小幡 誠吾	石川	佐野 修人	富山	* 井澤 伸生	福井	* 宮下 正
近畿	滋賀	是洞 成孝	京都	木村 浩和	奈良	* 河口 陽一	奈良	* 糸田 博文
阪神	大阪	* 原田 知彦	大阪	渡辺 太一郎	兵庫	山口 善克	和歌山	* 佐藤 善英
東中国	鳥根	阿部 義信	岡山	山田 達彦	鳥取	樹田 久由	岡山	山田 眞理
西中国	広島	村松 輝昭	広島	近藤 展弘	広島	松井 英男	山口	田坂 信介
四国	高知	* 小松 雅広	徳島	* 影山 智浩	愛媛	* 藤原 宏明	香川	* 高嶋 英樹
九州北	佐賀	* 石井 将史	大分	* 岩崎 真佐樹	福岡	* 山村 公志郎	大分	三浦 文義
九州南	鹿児島	* 高田 健作	熊本	* 米野 結貴	宮崎	* 小川 昭彦	沖縄	* 井上 苗子

#### 2. 理事会推薦

広報委員会		
北海道・南北東北	*	岡崎 孝弘
上信越・関東	*	木村 公彦
東京		廣田 隆之
東海・北陸	*	名和 良之
近畿・阪神		由良 隆行
中国・四国	*	山下 智史
九州	*	山本 恵美代

（主な意見）

- 各委員会の新任者は、企画環境委員会 13 名、教育委員会 11 名、組織委員会 11 名、CSR 委員会 11 名、広報委員会 5 名である。今後の活躍を期待するとともに委員会内およびブロックにおけるスムーズな運営のための「引継ぎ」をお願いしたい。
- 周囲からの推薦で委員となるような自然な流れが生まれるように新委員長には尽力いただきたい。

〔審 2〕2024-2025 年度各委員会委員候補リスト

### 3. 委員会答申

各委員長から資料に基づき、2023年度の諮問・推進事項に関する答申の報告があり、審議・採決の結果、今回の結論及び方向性が全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

各委員会からの答申案報告（各委員会資料）の通り、承認された。

（主な意見）

- ・委員長時代を思い出し聞かせてもらった。一年目は手探りだが、二年目からは伸び伸びと活動に取組めるものであり、各委員長の皆様も存分に能力を発揮されたと思う。
- ・委員会活動で体得した言葉や考え方を活かし、新たなフィールドで活躍願いたい。

〔審3〕2024-1 理事会資料 委員会諮問事項に対する答申案（別冊）

### 4. 2023年度の取組みに対する表彰

事務局より2023年度に実施した「仲間づくり推進」ならびに「目指せ、三冠王！」の取組み結果に対する表彰内容について提案があり、全会一致で承認された。

#### 2023年度の取組みに関する表彰（合計474万円）

(1)2023年度仲間づくり推進（代協正会員増強運動）の表彰 256万円

年間入会目標達成代協の表彰 222万円

・基準（入会目標+5店・・・7万）= 4代協（栃木・三重・京都・大阪）

基準（入会目標+2店・・・5万）= 1代協（岩手）

基準（入会目標達成・・・3万）= 28代協（やまがた・新潟・長野・茨城・千葉・神奈川・山梨・愛知・富山・石川・福井・滋賀・奈良・兵庫・和歌山・岡山・鳥取・広島・山口・徳島・香川・高知・福岡・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄）

・会長特別表彰(連覇V4 1万/年数)

V20 = 福岡、V11 = 滋賀、V10 = 山梨・京都・奈良・長崎・熊本、V8 = 徳島、V6 = 福井・鹿児島・沖縄、V5 = 三重・石川・大阪・山口・香川・宮崎

・年間連Q稼働達成

新潟・長野・栃木・三重・富山・福井・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山・岡山・山口・徳島・香川・福岡・長崎・宮崎・沖縄

仲間づくり「仲間づくり推進キャンペーン」の表彰 34万円

入賞した以下の17代協を表彰する。

・年間±0達成

青森・岩手・秋田・やまがた・新潟・長野・栃木・茨城・埼玉・千葉・山梨・福井・奈良・和歌山・鳥取・香川・愛媛

(2)三冠王の表彰（ダイヤモンド三冠の9冠は該当なし） 218万円

ダイヤモンド三冠王（6冠以上）

【9冠】 該当なし

【8冠】 山梨・愛知・三重・石川

【7冠】 神奈川・富山・福井・広島

【6冠】 岩手・栃木

プラチナ三冠王

【5冠】 長野・山口・香川・福岡・長崎・鹿児島

ゴールド三冠王

【4冠】 新潟・茨城・滋賀・京都・奈良・和歌山・岡山・鳥取・高知

三冠王

【3冠】 やまがた・千葉・大阪・兵庫・徳島・宮崎・熊本・沖縄

連覇加算：以下の28代協が連覇

岩手、新潟、長野、千葉、神奈川、山梨、愛知、三重、富山、石川、  
福井、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、岡山、鳥取、広島、山口、  
徳島、香川、福岡、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄

〔審4〕2023年度の取組みに対する表彰案

#### 5. 第13回日本代協コンベンションPTの活動開始

事務局より、資料に基づき、第13回日本代協コンベンションPTの活動開始に当たっての説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から2名ずつ選出された8名に事務局を加えたPTメンバーで活動を開始する。PTリーダーは東京代協古矢氏に要請する。

<懇親会のアトラクションについて意見を求めた>

- ・コンベンションPTでは、アトラクションが必要との意見はなかった。
- ・過去のアトラクションを振り返っても記憶がなく、ご当地PRの予算が厳しいので、そこに充当いただければ、担当地区は助かると思う。
- ・アトラクションはなくて良い。昨年状況を会場後方から確認していたが、騒々しいだけであり演奏者に失礼だと感じた。
- ・ご当地PRは設定予算オーバーとなっていることが多いのではないかと。現地で個別負担が発生している事実があるなら、アトラクション費用をPRに充当いただきたい。

<その他>

- ・分科会は、ソラシティカンファレンスの使用が可能となり、昨年と同一場所で開催する。
- ・MCを理事以外から選定し、東京代協会員の日商保険コンサルティング鶴狩氏、日向氏のお二人をお願いすることとなった。若手の役割発揮、男女差のない運営につなげたい思いから要請し、実現したものである。
- ・基調講演は、原田宗亮氏に依頼し、分科会の講師候補は、福岡大学植村教授、中崎アドバイザー、RiMiX今徳社長に依頼している。残りの候補はPTで選出する。

〔審5〕第13回コンベンション企画案 20240510

〔審5〕2024コンベンションPTメンバーならびにPT活動スケジュール案

## 6. 能登半島地震災害義援金の給付について

事務局より能登半島地震に対する災害義援金の配分案について説明があり、審議採決の結果全会一致で承認された。

### 【決定および確認したこと】

- ・石川県代協に義援金全額を送り、用途は石川県代協に一任すること。
- ・最終集計金額は、8,164,707円であること。
- ・金額、送金立証資料を理事メンバーに共有すること。

〔審6〕能登半島地震義援金について（案）

## 報告事項

### 1. 2024年度「目指せ、三冠王!」の目標値

事務局より仲間づくり推進、ぼうさい探検隊の2024年度「目指せ、三冠王!」の説明があり、各目標を共有した。同時に6月13日の会長懇談会で実施する23年度取組表彰について理事の役割を確認した。

（主な意見）

- ・新旧理事入替のタイミングであるので、理事会としてしっかり共有し、新任理事を含めて済々と運営したい。

〔報1〕1.2024年度「目指せ、三冠王!」各項目の目標数

### 2. 監事会報告

- ・事務局より、資料に基づき、監査実施報告があり、確認、共有された。

（主な内容）

- ・2024年5月8日(水)に業務監査が行われた。(津田監事、小島監事、佐藤公認会計士が参加)
- ・事業報告に関しては、「2023年度通常総会招集のご通知(案)」にて報告を行った。
- ・期末会計監査では、特に問題となるような指摘はなかったが、引当金の計上などについては、12月の中間監査時に再度打合せすることとした。
- ・業務執行に関し、監事から特別な指摘はなかったが、以下のような意見があった。

ブロック協議会について

ブロック協議会の運営にばらつきがある。特色あるやり方を否定するものではないが、日本代協の事業として実施しているものである以上は、やるべきことはやるという確認が必要ではないか。

（執行理事見解）

6月14日に理事オリエンテーションもあるので、ブロック協議会の中身についての確認と論議を実施したい。

都道府県代協の総会対応について

すべての代協に合致するものではないが、各代協総会から法務局への届出の過程で不備指摘の可能性がある、確認が必要ではないか。年1回の総会開催において、総会と理事会の流れによって法務局から指摘をされたケースがある。

（執行理事見解）

年一回の総会の場合の進行順序について、司法書士に確認し別途共有したい。

会員数の減少トレンドの分析と対策について

(執行理事見解)

組織委員会でも検討いただいているが、代協の魅力をより伝える取組を行いたい。

運営面の見直しについて

通常総会を13時開始にしたことは良い変更である。日本代協全体の思い切った見直しを推進してもらいたい。

〔資料〕2024年度通常総会提案議案「2023年度日本代協事業報告&決算報告」

### 3. 前回理事会(2024.3.7開催)以降の主な業務報告

#### (1)仲間づくり推進

事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の4月末状況について報告があり、確認、共有された。

(主な内容)

- ・福井県代協が早くも仲間づくり目標を達成された。
- ・本年度より「㊦ゼロ以上キャンペーン」は通年開催である。達成状況表に織り込んでいるので、確認をお願いします。

〔報3\_1〕(4月末)仲間づくり推進(正会員増強運動)目標達成状況表

#### (2)損害保険大学課程各コースについての認定状況等

損保大学課程各コースの「認定状況等」ならびに2024年7月に開始するコンサルティングコースWebセミナーについて報告され共有した。

(主な内容)

##### ・Webセミナー

各ブロックの日程振り分けは、教育委員会で決定し、7月より運営を開始するので、引き続きのご協力をお願いしたい。

##### ・認定状況(対前月末比)

コンサルティングコースの認定状況等

- |         |                |
|---------|----------------|
| ・認定取得者数 | 20,890名(+103名) |
| ・認定有効者数 | 16,512名(-27名)  |

専門コースの認定状況等

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ・認定取得者数        | 96,574名(+210名) |
| ・認定有効者数        | 48,453名(-321名) |
| TPがいる代理店検索機能登録 | 4,033店         |
| TP顔写真付き認定証申込数  | 249枚(+7枚)      |

〔報3\_2〕損害保険大学課程各コースの認定状況等について

〔報3\_2〕2024年度コンサルティングコース第1回セミナー開催日程

#### (3)日本代協アカデミー

事務局より報告があり、共有された。

- ・教育委員会では、推進における立ち位置を確認するための指標を検討している。PTで意見集約を行い、活用状況の数値把握を日企と折衝し状態の見える化につなげたい。



- ・三冠王の個別項目ではないが、ここからどのように活用し、代理店、募集人教育に活かすのか、そのためにはどのようにブラッシュアップするかを確認するよい機会である。

(主な意見)

- ・利用ログのタイムリーな検証は可能なのか システム変更に伴う作業負荷を確認する。  
〔報3\_3〕(4月末)アカデミー都道府県別集計データ (追加 P4)  
〔報3-3〕(参考)2024 目標検討\_日本代協アカデミー (追加 P5)

#### (4)代理店経営サポートデスクの相談対応状況

事務局より報告があり共有された。

- ・4月発信済みの『1日出張！代理店経営サポートデスク』の活用を再案内する。現在1代協から申込をいただいている。  
〔報3\_4 〕『1日出張！代理店経営サポートデスク』のご案内  
〔報3\_4 〕出張：代理店経営サポートデスク(チラシ案01)

#### (5)その他

- ・小橋理事から2024年2月開催の近畿ブロック協議会公開セミナーについて説明があり、共有された。  
〔報3\_5〕「近畿ブロック公開セミナー映像に学ぶ減災のヒント」参加者アンケート
- ・北島理事より「各ブロックから日本代協に連絡をしている件、各県における事務局が抱える問題と今後の方向性に関する件、心理的安全性の実効性」の3点の報告があった。
- ・事務局より有識者会議についての報告を行った。

#### 監事講評

津田監事より以下のとおり監事講評があった。

本日の理事会は、2024年度第1回でありながら、2023年度の締めくくりとしての諮問事項の発表があり、その内容は大変すばらしいものであった。現状を見聞きするにおいて、過去に荻野会長が当局の保険ワーキンググループに参加された際のやりとりを思い出した。歴史の流れを感じている。

以上

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後 4 時 54 分閉会した。  
終始異状なく議案の審議を終了した。  
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2024 年 5 月 10 日

議 長 会 長 小 田 島 綾 子 印

議事録署名人 監 事 津 田 文 雄 印

議事録署名人 監 事 小 島 俊 宏 印

議事録作成者 坂 雅夫

本書は、2024 年 5 月 10 日に開催された一般社団法人 日本損害保険代理業協会の 2024 年度  
第 1 回理事会の議事録に相違ないことを証す。

2024 年 5 月 10 日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会  
会長(理事) 小 田 島 綾 子